■取扱説明書■

明京電機株式会社

ネットワーク稼動監視ソフト　　RPC -EYE V3

1.　はじめに

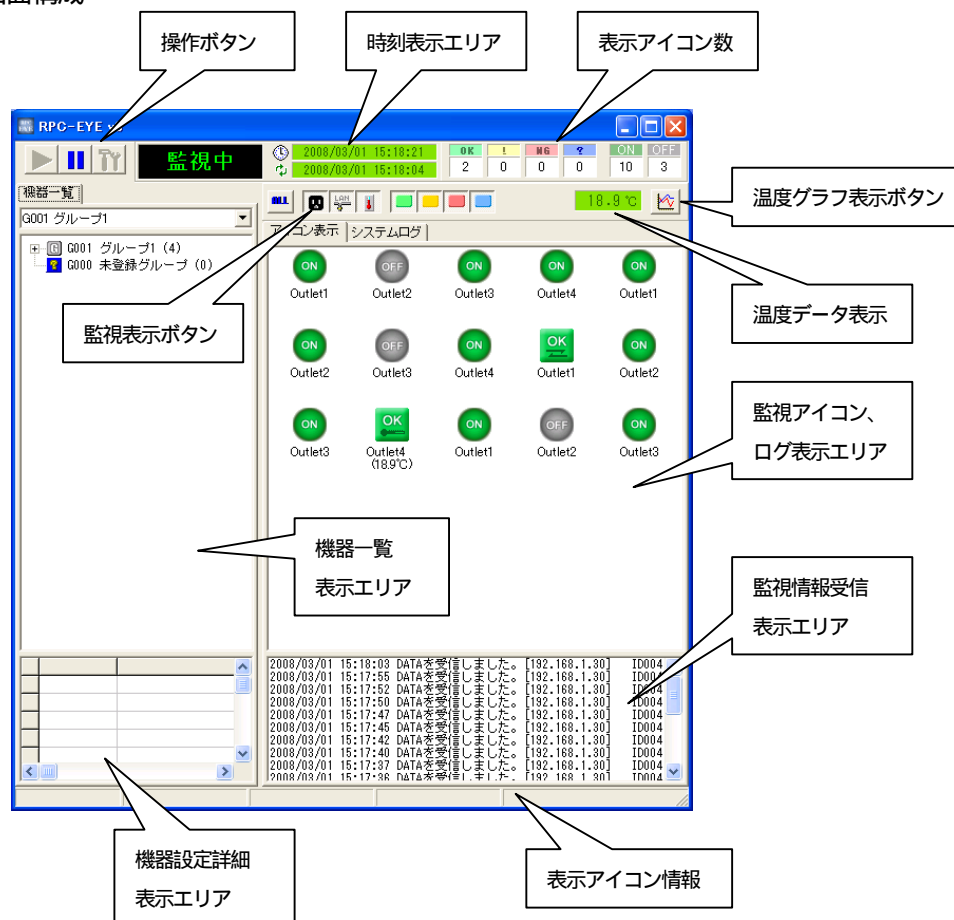
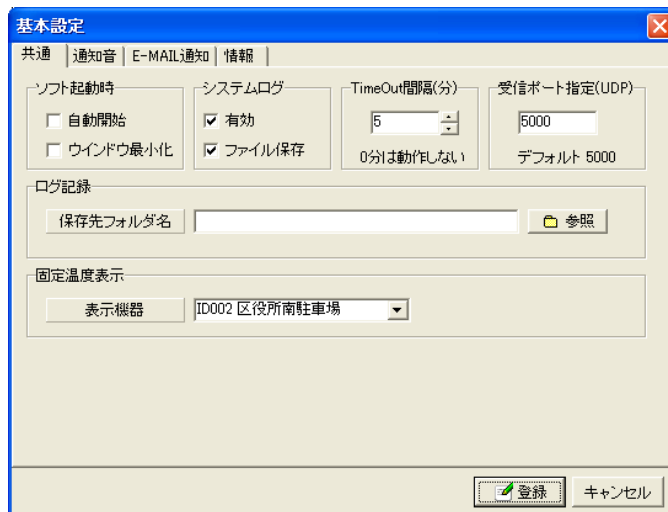
当社製品をご利用ありがとうございます。
RPC-EYE　V3 は当社製品を利用してネットワークの稼動状態を監視するソフトウェアです。各機器のアウトレット毎に監視状態を表示します。以下の機能があります。

稼動監視機能

- 電源状態監視
- PING 監視の状態監視
- 温度監視の状態監視
- 監視状態のログ保存

（監視台数の理論上の制限は 1000 台です。）

RPC-EYE　V3 を PC にインストールしてください。
RPC-EYE　V3 は Windows 2000/XP/ Vista 対応ソフトです。

1）画面構成

2）操作ボタン

監視実行ボタン 監視を実行します。

監視停止ボタン 監視を停止します。

監視設定ボタン 監視の基本設定をします。
（監視実行中は設定できません。）

操作ボタンの右側に「監視中」、「停止」を表示します、

① 監視設定ボタンを押して基本設定します。

② 「共通」のタブをクリックして共通項目の設定をします。

基本設定画面-共通

ソフト起動時
　自動開始　　　　チェックを付けるとソフト起動時に監視を実行します。
　ウインドウ最小化　チェックを付けるとソフト起動時にウインドウ最小化で起します。

システムログ
　有効　　　　　　チェックを付けるとログ表示エリアにシステムログを表示します。
　ファイル保存　　チェックを付けるとシステムログを保存します。
（ファイル名｛syslog******.txt（******：年月日)｝として、RPCEYE3.EXE と同じフォルダに生成されます。）

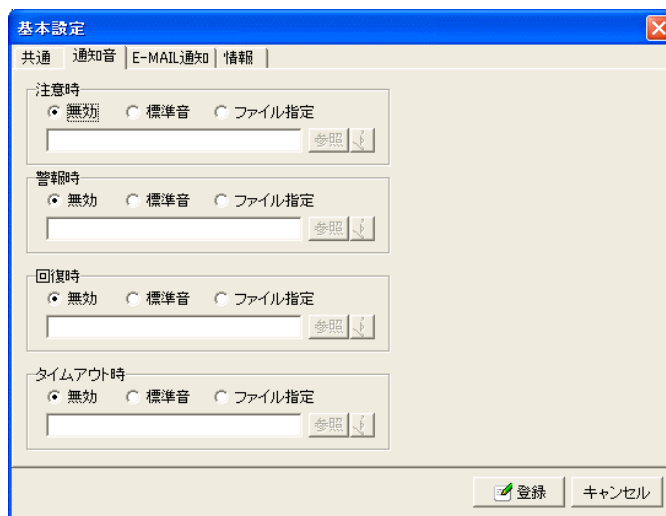
TimeOut 間隔（分）　設定した時間以上、登録した製品から状態通知パケットが到着しない場合に障害と判断して、アイコンを障害アイコンに変更します。
　デフォルト 10（分）

受信ポート指定（ＵＤＰ）　デフォルト　５０００

ログ記録　　　　　　　保存先フォルダ名を選択します。
（デフォルトはＲＰＣＥＹＥ３.ＥＸＥ と同じフォルダ）

固定温度表示　　　　　選択した機器の温度を監視画面上に表示します。

③　「通知音」のタブをクリックして通知音の設定をします。

基本設定画面-通知音

「注意時」、「警報時」、「回復時」、「タイムアウト時」にそれぞれの通知音を鳴らすことが出来ます。

無効　　　　　　チェックを付けると通知音は鳴りません。
標準音　　　　　チェックを付けると通知音は Windows の標準音が鳴ります。
ファイル指定　　チェックを付け音声ファイルを指定すると通知音は指定した音声ファイルを鳴らすことが出来ます。

④　「E-MAIL 通知」のタブをクリックして E-MAIL 通知の設定をします。

基本設定画面- E-MAIL 通知

E-MAIL 設定

E-MAIL 送信を行う	チェックを付けると E-MAIL 送信を行います。
（設定項目を記入するとチェックボックスが有効になります。）	
送信先 E-MAIL アドレス	送信先 E-MAIL アドレスを入力してください。
送信元 E-MAIL アドレス	送信元 E-MAIL アドレスを入力してください。
接続方式	認証方式を選択します。（デフォルト　None）
ユーザーＩＤ	認証が必要な場合（接続方式　Simple Login）
パスワード	ユーザーＩＤ、パスワードを入力してください。
件名	E-MAIL の件名を入力してください。
ＳＭＴＰサーバアドレス（送信）	ＳＭＴＰサーバアドレス（送信）を入力してください。
ＳＭＴＰポート	25　（デフォルト 25）

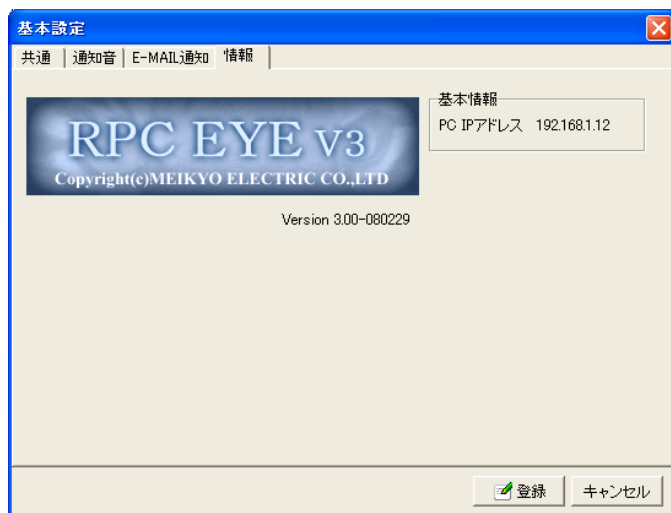
送信制限

1 日の」送信数を制限する	チェックを付け回数を設定すると 1 日の送信回数を制限できます。（最大　100 回）

送信テスト

「送信テスト」をクリックすると、E-MAIL 設定の送信先 E-MAIL アドレスにテストメールを送信できます。

⑤　「情報」のタブをクリックしますと基本情報が表示されます。

基本設定画面- E-MAIL 通知

基本情報　　　　　　　ＰＣのＩＰアドレスが表示されます。

3）時刻表示エリア

上段　　現在の日時、時刻を表示します。
下段　　最新の監視データを受信した日時、時刻を表示します。

4）監視表示ボタン

全ての監視アイコンを表示します。

電源状態監視アイコンを表示します。

ｐｉｎｇ監視アイコンを表示します。

温度監視アイコンを表示します。

状態正常時のアイコンを表示します。

状態注意時のアイコンを表示します。

状態異常時のアイコンを表示します。

監視データ障害時のアイコンを表示します。

5）表示アイコン数

監視アイコン、ログ表示エリアに表示されている監視アイコンの数を監視状態別の数を表示します。

OK　：　ＰＩＮＧ監視、温度監視の正常アイコンの数

!　：　ＰＩＮＧ監視、温度監視の注意アイコンの数

NG　：　ＰＩＮＧ監視、温度監視の異常アイコンの数

?　：　受信したパケットデータの障害またはパケット未受信時のアイコンの数

ON　：　電源状態監視のアウトレットＯＮアイコンの数

OFF　：　電源状態監視のアウトレットＯＦＦアイコンの数

6）監視アイコン、ログ表示エリア

① 監視するアウトレット全てを表示します。

障害アイコン

?　　Time Out

未データ　タイムアウト

未データ　：　監視パケットデータが未受信時に表示します。

タイムアウト　：　受信したパケットデータの障害時に表示します。

電源状態アイコン　　ＰＩＮＧ監視アイコン　　温度監視アイコン

ＯＮ　ＯＦＦ　正常　注意　警報　正常　注意　警報

電源状態アイコン

電源ＯＮ	：	電源監視状態で電源ＯＮの場合に表示します。
電源ＯＦＦ	：	電源監視状態で電源ＯＦＦの場合に表示します。

ＰＩＮＧ監視アイコン

ＰＩＮＧ正常	：	ＰＩＮＧ監視状態で未応答のＩＰアドレスが無い場合に表示します。
ＰＩＮＧ注意	：	ＰＩＮＧ監視状態で未応答のＩＰアドレスがある場合に表示します。
ＰＩＮＧ警報	：	ＰＩＮＧ監視状態で未応答が「異常」に達した場合に表示します。

「異常」に達する条件は、製品の死活監視設定で設定します。

温度監視アイコン

温度正常	：	温度監視状態で正常時に表示します。
温度注意	：	温度監視状態で注意時に表示します。
温度警報	：	温度監視状態で警報時に表示します。

② システムログを表示します。
（システムログのタブをクリックして表示を切り替えます。）

7）機器一覧表示エリア

登録された機器の一覧が表示されます。

① 表示されたグループをクリック選択し、右クリックすると「グループ新規作成」、「グループ名称変更」が出来ます。

② 登録された機器をクリック選択し、右クリックすると「編集」、「削除」、「詳細」、「接続」が出来ます。（「編集」、「詳細」、「接続」は、3.　設定、接続を参照してください。）

機器のアイコンにより現在の状態を確認できます。

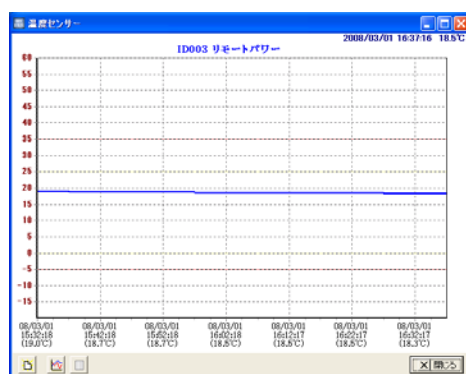
：　監視正常時
：　監視注意時
：　監視警報時
：　状態不明時

8）機器設定詳細表示エリア

機器一覧に登録された機器の設定詳細が表示されます。
機器一覧に登録された機器をクリック選択すると、機器の設定項目が表れその項目をクリックと機器の設定詳細が表示されます。
表示項目　「状態表示」、「アウトレット」、「温度監視」、「ネットワーク」、「設定内容」、「ログ記録」、「メモ」

9）温度データ表示

基本設定-共通-固定温度表示で選択した機器の温度が監視画面上に表示します。
「温度グラフ表示ボタン」をクリックすると温度をグラフ表示することが出来ます。

温度グラフ画面

温度データを消去します。

画面をグラフ表示にします。

画面をテキスト表示にします。

10）監視情報受信表示エリア

監視情報受信情報を表示します。

11）表示アイコン情報

監視アイコン、ログ表示エリアの監視アイコンをクリックすると、ステータスバーに監視アイコンの情報が表示されます。

注　意

機器の登録は製品からの「UDP　パケット」を受信すると自動的に登録されますので、その後、未登録の機器を登録して行きます。

2.　機器設定

「RPC-EYE　V3」はＵＤＰのパケットを受信し電源状態、監視情報が一元管理することができます。

「RPC-EYE　V3」を利用するには機器の設定が必要です。「ＲＰＣ系」と「ＬＴ－３０００，ＰＴ－３０Ｌ系」では設定方法が違います。

ＲＰＣ系の設定

1）Ｗｅｂブラウザでの設定

Ｗｅｂブラウザでログインして、「通信設定」-->「詳細設定」の「状態通知機能」の項目を設定します。

① 状態通知機能を有効にチェックします。
② 通知先センターＩＰ１に監視するＰＣのＩＰアドレスを設定します。
③ 他にも監視するＰＣがある場合は通知先センターＩＰ2、3 にＰＣのＩＰアドレスを設定します。
④ 送信間隔(秒)を設定します。（デフォルト：300 秒）
⑤ 「適用」ボタンをクリックして設定します。

2）制御ユーティリティでの設定

制御ユーティリティを起動して、「通信設定」-->「状態通知/PPPoE」の「状態通知機能」の項目を設定します。

① 状態通知機能を有効にチェックします。
② 通知先センターＩＰ１に監視するＰＣのＩＰアドレスを設定します。
③ 他にも監視するＰＣがある場合は通知先センターＩＰ2、3 にＰＣのＩＰアドレスを設定します。
④ 送信間隔(秒)を設定します。（デフォルト：300 秒）
⑤ 「適用」ボタンをクリックして設定します。

3）TELNET およびターミナルソフトによる設定

TELNET 接続、シリアルポートからターミナルソフトにて下記の項目を設定してください。
詳しくは詳細マニュアルを参照してください。

① MSRP 機能
変数　：　msrpEnabled　(1 に設定)

RPC-EYE　V3 を使用するＰＣのＩＰアドレスを設定します。

② 送信先アドレス
変数　：　ipAdCenter　0.0.0.0,0.0.0.0,0.0.0.0
（3 箇所）

情報を通知する間隔を設定します。

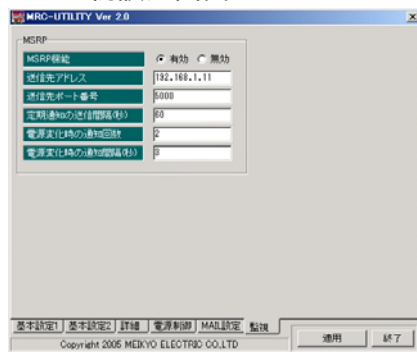
③　定期通知の送信間隔（秒）

変数	：	centerSendTimer
デフォルト	：	300

ＬＴ－３０００，ＰＴ－３０Ｌ系の設定

1）ユーティリティソフト（MRC-UTILITY）での設定

MRC-UTILITY を起動しパスワードを入力し「接続」ボタンをクリックし、「監視」のタグをクリックします。監視設定画面が表示されます。

監視設定画面

MSRP 機能	：	有効、無効の選択 有効にチェックします。
送信先アドレス	：	RPC コンダクターを使用するパソコンのＩＰアドレスを設定します。
送信先ポート番号	：	RPC コンダクターに設定したポート番号を設定します。（ デフォルト：5000 ）
定期通知の送信間隔（秒）	：	情報を通知する間隔を設定します。 （ デフォルト：60 秒 ）
電源変化時の通知回数	：	電源変化時は、定期通知間隔を待たず直ちに通知します。その時の通知回数を設定します。 （ デフォルト：2 回 ）
電源変化時の通知間隔	：	電源変化時の通知回数が２回以上ある場合に、各通知の通知間隔を設定します。 （ デフォルト：3 秒 ）

①　設定が終わりましたら「適用ボタン」を押してください。

3.　接続、設定

「RPC-EYE　V3」の接続方法、各種設定をします。

- 「RPC-EYE　V3」を監視するＰＣにインストールします。
- 「RPC-EYE　V3」はWindows 2000/XP/ Vista 専用のソフトです。

注意　※UDP パケットを受信するためセキュリティチェックソフトが働く場合があります。その場合は許可を与えてください。
※　ルータ経由で UDP パケットを受信する場合、ルータからのポートフォワードが必要です。設定に関しては、ルータのマニュアルをご覧下さい。

なお、Windows 2000/XP/ Vista は MicrosoftCorporation の登録商標です。

1）接続

①　「RPC-EYE　V3」を起動します。

②　監視実行ボタンをクリックし、監視を開始します。
（監視中は操作ボタンの右側に「実行」と表示されます。）

③　「RPC-EYE　V3」を起動すると、監視アイコン、ログ表示エリアには未データアイコンが表示されますが、監視データを受信すると（　2）設定　）で設定されたアイコンが表示されます。
（未登録機器の監視データを受信すると、監視情報受信表示エリアに未登録と表示され、機器一覧表示エリアの未登録グループの下に「ＭＡＣアドレス」と「ＩＰアドレス」情報によって未登録の機器が表示されますので機器ファイルをダブルクリックし、（　2）設定　）の設定を行ってください。設定、登録がしますと機器ファイルが未登録グループからＧ００１　グループの下に移動します。）

2）設定

① 機器一覧表示エリアの機器をクリック選択し、右クリックして「項目編集」を選択して機器の登録、編集します。

② 「名称登録」、「接続」、「ログ保存」、「通知機能」、「情報」のタブを選択し機器の登録、編集します。

名称登録画面

機器名称　　　：　機器名称を設定します。
（機器一覧に表示されます。）

メモ　　　　　：　メモを記入できます。
（機器設定詳細表示エリアに表示されます。）

アウトレット名称　：　アウトレット名称を設定します。
（監視アイコンの下に表示されます。温度表示する場合は半角 11 文字以内にしてください。）

アイコン表示　　：　表示するにチェックし、電源状態、死活監視、温度監視を選択します。選択したアイコンが表示されます。

次項目「接続」の機器からの情報受信より「機器名称」、「アウトレット名称」の情報を取得することが出来ます。

接続画面

アカウント設定

接続方法　　　　　：　接続方法をなし、ｈｔｔｐ、ｔｅｌｎｅｔより選択します。（デフォルト：なし）ＲＰＣ－ＥＹＥ　Ｖ３上より接続する場合はｈｔｔｐ、ｔｅｌｎｅｔを選択してください

ＩＰアドレス　　　　機器のＩＰアドレスを入力します。

受信したIPアドレスに対して接続を行う：受信毎に更新したIPに接続

ＰＯＲＴ　　　　　：　ＰＯＲＴ番号が表示されます。（ｈｔｔｐ、ｔｅｌｎｅｔは自動的に80、23が表示されます。）

機器からの情報受信（ＴＥＬＮＥＴ接続）

パスワード　　　　：　パスワードを入力します。

ＰＯＲＴ　　　　　：　ポート番号が表示されます。（デフォルト：23）

「情報取得」ボタンをクリックすると対象機器から、機器名称、アウトレット名称、機器バージョン情報を取得できます。

ログ保存画面

ログ保存

記録するにチェックすると、「基本設定」、「共通」、「ログ記録」で選択した保存先フォルダにアウトレット毎に記載されたファイル名で記録されます。

通知機能画面

E-MAIL 送信条件

チェックした条件時に E-MAIL 送信します。(複数選択可能)

ＩＰ／ＭＡＣアドレス情報添付　　チェックするとＩＰ／ＭＡＣアドレス情報を添付して E-MAIL 送信します。

通知音設定

チェックした条件の E-MAIL 送信時に通知音がなります。(複数選択可能)

情報画面

アウトレット数　　機器のアウトレット数が表示されます。

ＩＰアドレス　　機器のＩＰアドレスが表示されます。

3）個別情報

監視アイコン、ログ表示エリアの監視アイコンをダブルクリックすると、監視アイコンの個別情報が表示されます。

個別情報表示画面

①　「詳細ボタン」をクリックし、「基本情報」「死活状態」「応答状態」「温度情報」タブより選択し各項目を表示できます

基本情報画面

表示項目

ＩＰアドレス	：	監視機器のＩＰアドレスを表示します。
ＭＡＣアドレス	：	監視機器のＭＡＣアドレスを表示します。
アウトレット名称	：	監視機器のアウトレット名称を表示します。
状態	：	監視機器のアウトレット状態を表示します。

死活状態画面

表示項目

電源	：	電源状態を表示します。
判定/温度判定	：	ＰＩＮＧ監視判定、または温度監視判定を表示します。
送信数/動作設定	：	ＰＩＮＧ送信数、または温度動作設定を表示します。
無応答/警報温度	：	ＰＩＮＧ監視無応答数、または温度監視の警報温度を表示します。
対象数/温度注意	：	ＰＩＮＧ監視対象数、または温度監視の温度注意を表示します。
動作/Ｈｙｓ温度	：	ＰＩＮＧ監視の動作、または温度監視のＨｙｓ温度を表示します。
実行数/現在温度	：	ＰＩＮＧ監視の実行数、または現在温度を表示します。

応答状態画面

表示項目

ＩＰアドレス 1～4	：	各アウトレット毎に表示します
状態	：	ＰＩＮＧ監視の状態を表示します。
無応答数	：	ＰＩＮＧ監視の無応答数を表示します。

温度情報画面

表示項目

設定状態

設定内容	：	温度監視の設定内容が表示されます。

指定温度設定

上限警報	：	上限警報温度を表示します。
上限注意	：	上限注意温度を表示します。
上限Ｈｙｓ	：	上限Ｈｙｓ温度を表示します。
下限警報	：	下限警報温度を表示します。
下限注意	：	下限注意温度を表示します。
下限Ｈｙｓ	：	下限Ｈｙｓ温度を表示します。
温度状態	：	温度監視の状態と現在の温度を表示します。

② 「接続ボタン」をクリックしますと、ブラウザ又はｔｅｌｎｅｔで接続できます。接続後の設定、制御は各機器の取扱説明書を参照してください。
（機器情報　登録/編集　「接続」の接続方式で設定した内容で接続されます。なしに設定した場合は「接続ボタン」がクリックできません。）

③ 「編集ボタン」をクリックしますと、機器の項目編集が出来ます。
（「3．接続、設定」、「2．設定」の内容を参照してください。）

4.　仕様

1）保存ログ形式

「RPC-EYE　V3」の保存ログはCSVデータフォーマットで14個のデータで単位で保存されます。

01、02、03、04、05、06、07、08、09、10、11、12、13、14

01	：	年月日	表示例　2007/12/12
02	：	時分秒	表示例　12：10：10
03	：	ID番号	
04	：	アウトレット番号	
05	：	設定内容	0：電源　1：PING　2：温度
06	：	電源状態	0：OFF　1：ON　8：Timeout　9：不明
07	：	PING状態	0：正常　1：注意　2：異常　8：Timeout　9：不明
08	：	温度状態	0：正常　1：注意　2：警報　8：Timeout　9：不明
09	：	電源ステータス	0：電源OFF　1：電源ON　2：OFF遅延中　5: ON遅延中
10	：	電源カウント	電源変化の残り秒数
11	：	Judge	1：正常　2：異常
12	：	アクションカウント	Ａｃｔｉｏｎ実行回数
13	：	現在の温度	
14	：	アクションステータス	0：正常　1：高温動作実行　2：低温動作実行

2）E-MAIL形式

メール内容(例)	メール内容の説明
--	
2008/02/27 13:24:59　(2008/02/27 13:24:49)	現在日時　(前回の日時　新規の場合空白)
ＩD007 区役所南駐車場 (G001 グループ1)	ＩD 機器名称 (G001 グループ名)
設置日時 2006月5月13日 TNX05689	メモ情報
4: 温度 正常 (4.4℃)　<- 温度 注意　P外気温	アウトレット番号: 現在の状態　<- 変化前の状態　アウトレット名称
ＩＰ Addr　: 192.168.0.191	ＩPアドレス　※ＩP/MACアドレス
MAC Addr : 00:09:EE:00:97:F5	MACアドレス　情報追加の設定ON時のみ
--	

ご注意

（1）　本書および製品の内容の一部または全部を無断で複写複製することは禁じます。
（2）　本書および製品の内容の一部または全部を無断で複写複製することは禁じます。
（3）　本書および製品の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
（4）　本製品を運用した結果の影響については、（3）項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
（5）　本製品がお客様により不当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、または弊社および弊社指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
（6）　弊社指定以外のオプションを装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

ネットワーク稼動監視ソフト
RPC -EYE V3 取扱説明書　　第1.01 版
版権所有　明京電機株式会社　　　2009 年１月

明京電機株式会社

〒116-0012　東京都荒川区東尾久4-27-2
TEL（03）3810-5580　　　FAX（03）3810-5546
URL ：http://www.meikyo.co.jp/
E-mail: inforpc@meikyo.co.jp